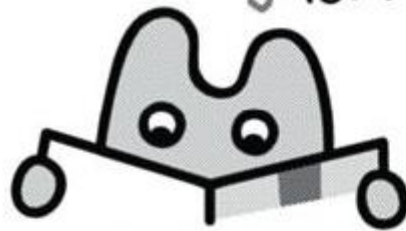


「記事 具体性が大切」

本紙神戸総局次長が講義

三木・豊地小

新聞で学ぼう



広がるNIE

教育現場で新聞を活用するNIEに取り組んでいる三木市立豊地とよち小学校（同市細川町豊地）で18日、産経新聞神戸総局の藤原直樹次長が「みんながわかりやすい新聞作成の極意」と題し

て講義した。写真。

同校は学年ごとに学校行事などの壁新聞作りを進めている。藤原次長は4、6年の児童29人を前に、自身の記者経験を話しながら「数字を盛り込むなど具体性が大切」と記事を書く上でのポイントを解説。乗馬体験などに取り組んだ5年生の課外学習を例に4、6年生が5年生に取材する実践的な授業も行った。

5年の橋爪春しゅんさん（11）は「新聞ができるまでの流れが理解できた。実際の壁新聞作りに生かしたい」と話していた。